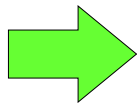


I 医療機能のあり方の検討について



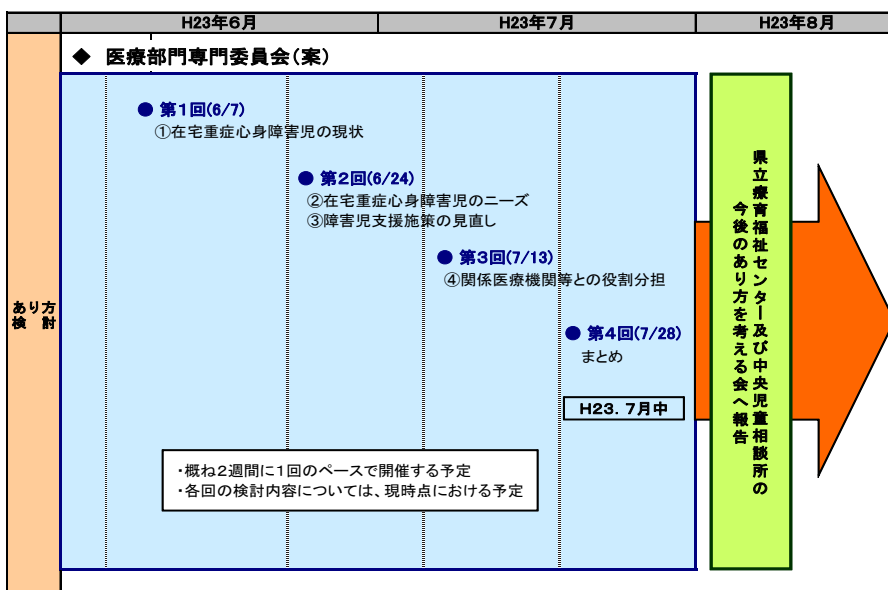
1 医療部門(小児科・整形外科)専門委員会での検討内容

- ① 在宅重症心身障害児(者)の実態
- ② 在宅重症心身障害児(者)のニーズ
- ③ 障害児支援施策の見直し関係
- ④ 関係医療機関等との役割分担



重症心身障害児(者)に対する療育福祉センターの医療機能のあり方を検討する。

2 医療部門(小児科・整形外科)専門委員会検討のスケジュール(案)



Ⅱ 在宅重症心身障害児(者)の 現状について



(1) 療育福祉センターの現状



沿革

- 昭和31年 高知県立整肢子鹿園として設立(73床)
(昭和39年に「高知県立子鹿園」に改称)
- 昭和34年 100床に増床
- 昭和38年 110床に増床(母子入園開始)
- 昭和41年 130床に増床(重度棟新設)
- 昭和50年 園舎全面改築
- 昭和57年 新重度棟新築
- 平成11年 6機関を統合し「高知県立療育福祉センター」とする。58床とする。
(統合した機関)子鹿園
難聴幼児通園センター(昭和55年設置)
中央身体障害者更生相談所(昭和27年設置)
幡多身体障害者更生相談所(昭和30年設置)
精神薄弱者更生相談所(昭和35年設置)
中央児童相談所障害児部門
- 平成18年 発達障害者支援センター設置 児童デイサービス(自閉症児通園)開始
- 平成21年 肢体不自由児通園施設に転換(定員20名)
有床診療所に転換(19床)



現在の機能

1 肢体不自由児通園施設(定員:1日あたり20人)

- ・ 就学前の肢体不自由児の発達支援、リハビリ訓練
- ・ 家族支援、相談支援
- ・ 関係機関への助言・指導



2 有床診療所(一般病床:19床)

- ・ 診療科:整形外科、小児科、精神科等
- ・ 短期入所・日中一時支援(空床型)・・・主に重症心身障害児を対象

- 短期入所・日中一時支援(単独型)・・・主に、重症心身障害児に該当しない児童を対象(定員:8名)

外来診療		月	火	水	木	金	備考
小児科	午前	小谷	小谷	小谷	小谷	小谷	
	午後	小谷		小谷			
整形外科	午前		石田・三宮		(三宮)	(三宮)	
	午後		山川・三宮		山川・三宮	(三宮)	
精神科	午前	畠中		畠中	畠中(判定)	泉本	※小野
	午後	畠中		畠中	小谷(判定)	泉本	
耳鼻科	午前		西岡(判定)				
	午後			弘瀬			
口唇口蓋裂矯正歯科	午前				※山本		
	午後				※山本		※2ヶ月に1回



○ リハビリテーション

- ・ 入院児や外来児・者に対する理学療法、作業療法、言語聴覚療法 (9コマ/日)

3 難聴幼児通園施設(定員:1日あたり30人)

- ・ 新生児聴覚スクリーニング後の精密検査等
- ・ 就学前の難聴幼児の発達支援、聴能言語訓練、補聴器の装用訓練等

4 身体障害者更生相談所・知的障害者更生相談所

- ・ 自立支援医療給付や補装具費の支給、療育手帳の判定に関する事
- ・ 更生相談や巡回相談に関する事
- ・ 市町村や関係機関への支援、研修に関する事等

5 中央児童相談所(障害児部門)

- ・ 児童の発達、療育相談に関する事
- ・ 障害児施設給付費等の支給決定、措置決定等
- ・ 特別児童扶養手当の認定、療育手帳の判定等
- ・ 市町村や関係機関への支援、研修に関する事等



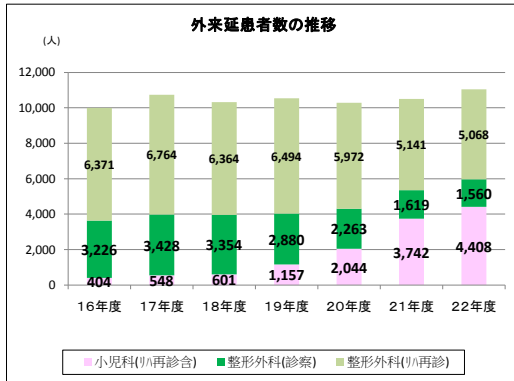
6 発達障害者支援センター

児童デイサービス(自閉症児通園)(定員:1日あたり20人)

- ・ 発達障害児・者の相談支援、発達支援、就労支援
- ・ 発達障害に関する普及啓発、研修に関する事
- ・ 就学前の自閉症児の個別療育、発達支援等



① 外来診療の状況



※ 業務概要より

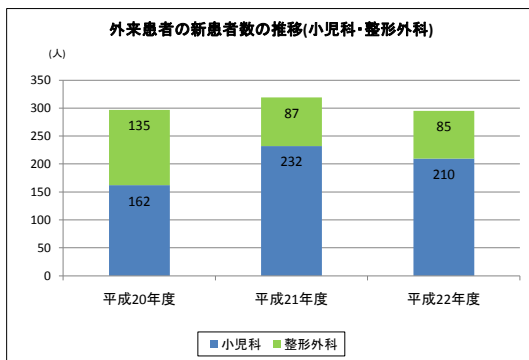
- ・整形外科は、平成21年度から非常勤医師のみとなり、外来患者数が減少傾向
- ・整形外科の平成22年度延患者数は、6,628件(うち診察1,560件、リハビリ再診5,068件)
- ・整形外科の外来患者の疾患名では、脳性麻痺が約70%、続いて運動発達遅滞、脳挫傷・脳血管障害が多い

※整形外科の外来延患者数(リハビリ再診含む)

疾患名	児	者	計
脳性麻痺	3593	1134	4727
脳挫傷・脳血管障害	340	13	353
運動発達遅滞	426	1	427
二分脊椎	160	21	201
筋・神経疾患	77	77	154
骨系統疾患	2	1	3
ヘルニア	14	2	16
小児股関節疾患	77	4	81
内反足	71	1	72
内転足	5		5
小児足部変形(内反・内転足以外)	49		49
脊柱側湾症	3	36	39
〇脚・X脚	2		2
斜頸	13		13
切断			0
精神遅滞	12	29	41
染色体異常	185		185
その他	239	21	260
小計	5288	1340	6628

※小児科の外来延患者数(リハビリ再診含む)

疾患名	児	者	計
脳性麻痺	345	20	365
脳性運動障害	54		54
運動発達遅滞	298		298
精神運動発達遅滞	258		258
染色体異常	468		468
てんかん	76	50	126
中枢神経感染症後遺症	29		29
脳・脊髄・頭蓋の形成異常	199		199
代謝・毒性・脱髄疾患	1		1
筋疾患	3		3
精神遅滞	337		337
言語発達遅滞	336		336
自閉症スペクトラム(ASD)	952		952
注意欠陥多動性障害(ADHD)	260		260
学習障害(LD)	19		19
ASD+ADHDなどの重複	94		94
MR+多動の重複	0		0
発達障害の疑いなど	348		348
その他の神経疾患	85		85
その他	100	27	127
その他後天性障害	49		49
小計	4311	97	4408



・平成22年度の肢体不自由児(者)の新患者数は年間およそ100名



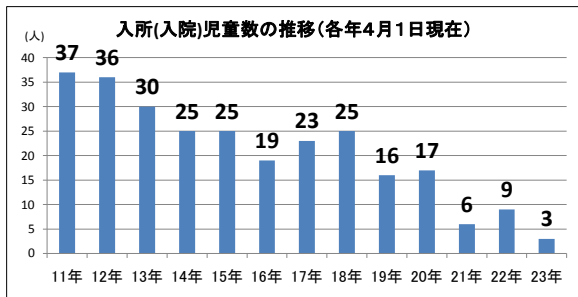
※H22年度 外来患者の新患者数(疾患別)

疾患名	人数
脳性麻痺	16
運動発達遅滞	29
二分脊椎	1
筋・神経疾患	2
骨系統疾患	1
小児股関節疾患	2
小児足部変形(内反・内転足以外)	3
〇脚・X脚	2
斜頸	1
精神遅滞	1
染色体異常	3
その他	24
合計	85

疾患名	人数
脳性麻痺	6
脳性運動障害	1
運動発達遅滞	6
染色体異常	5
てんかん	1
脳・脊髄・頭蓋の形成異常	1
精神遅滞	13
言語発達遅滞	30
ASD(自閉症スペクトラム)	63
ADHD(注意欠陥多動性障害)	3
ASD+ADHDなどの重複	2
発達障害の疑いなど	67
その他後天性障害	1
その他	11
合計	210

※ 療育福祉センター調べ

② 入院児の状況



H21～22年度入院児童数の月別の推移

H21年度		H22年度	
4月	4	4月	9
5月	7	5月	6
6月	8	6月	7
7月	7	7月	7
8月	10	8月	9
9月	10	9月	10
10月	13	10月	8
11月	16	11月	11
12月	16	12月	10
1月	6	1月	5
2月	12	2月	7
3月	11	3月	7

○他医療機関での手術の状況

【かがわ総合リハビリテーション病院】

	H20	H21	H22
脳性麻痺			6
股関節脱臼	※ 3		
科類			1
化膿性股関節炎 後遺症			1
合計	3	0	8
うち術後、療育福 祉センター入院件数		0	6

※かがわ総合リハビリテーション病院の医師が、医療センターで行った手術を含む

【細木病院】

	H21	H22
脳性麻痺	4	7
内反足	6	3
合計	10	10
うち術後、療育福 祉センター入院件数	2	5

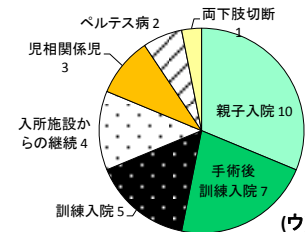
・各年4月1日現在の入院児童数は、年々減少傾向にあり、平成23年には3名となっている

・入院児童数を月別にみると、年度当初は少なく、8月～12月頃が多くなっている

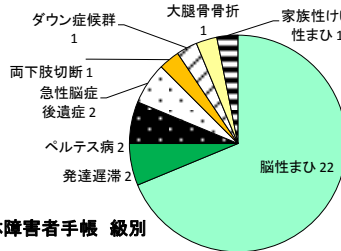
・平成22年度に、かがわ総合リハビリテーション病院と細木病院で行った手術件数は合わせて18名。うち11名が手術後、療育福祉センターへ入院している

※ 療育福祉センター調べ

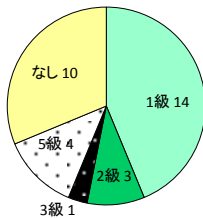
(ア) 平成22年度 入院 原因別



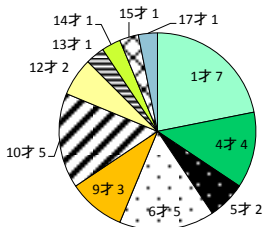
(イ) 平成22年度 入院 障害・疾病別



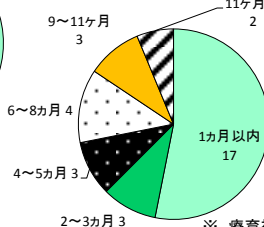
(ウ) 平成22年度 入院 身体障害者手帳 級別



(エ) 平成22年度 入院 年齢別



(オ) 平成22年度 入院 期間別

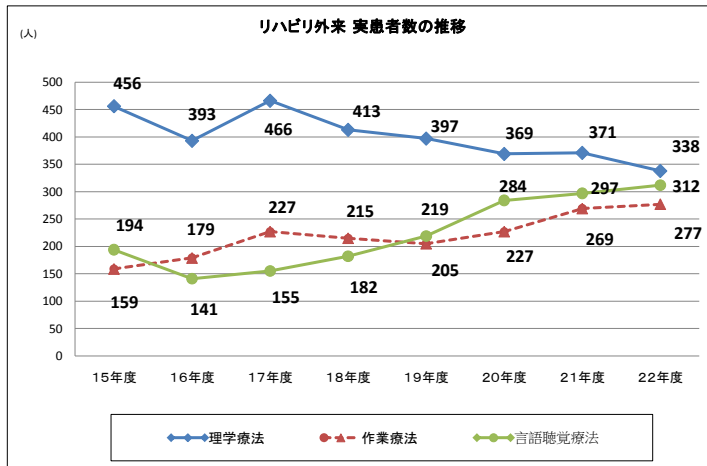


単位:人

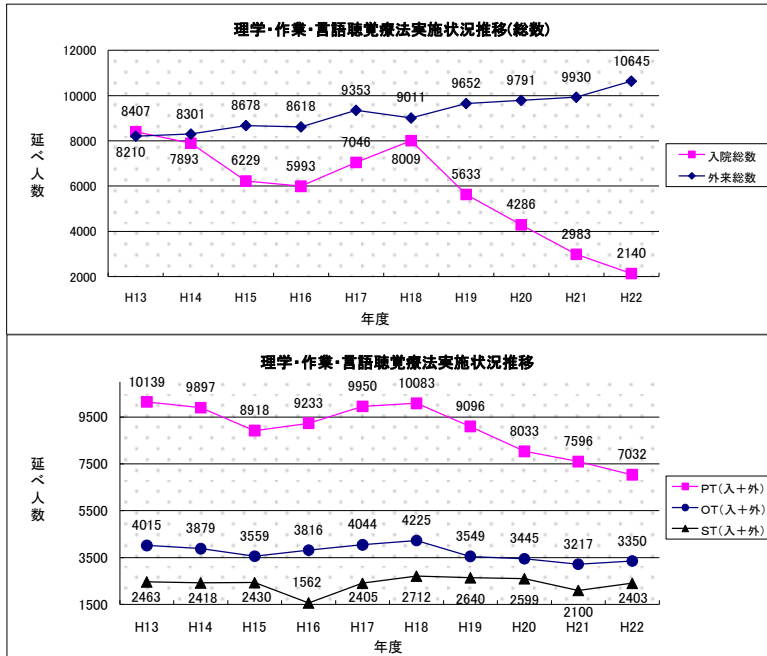
※ 療育福祉センター調べ

(ア)入院の原因別では、親子の訓練入院が10件と最も多く、続いて手術後の訓練入院が8件となっている
 (イ)障害・疾病別では、脳性まひが全体のおよそ70%を占めている
 (ウ)身体障害者手帳は1、2級がおよそ半分。3割の方が手帳を持っていない
 (エ)年齢別では、就学前(～6才)が55%となっている
 (オ)入院期間は、1ヶ月以内がおよそ半分。およそ3割の方が半年以上の入院となっている

③ リハビリテーションの状況



※ 業務概要より



・リハビリ外来の患者数は、理学療法は減少。作業療法と言語聴覚療法は増加

・リハビリの実施状況は、全体では入院児童の実施件数は減少、外来総数は増加傾向

※ 業務概要より

【外来に対する理学療法(実人数)】

ア 疾患別数

疾患別分類		H20年度	H21年度	H22年度
脳	性 麻 痺	149	141	156
脳性麻痺以外の 中枢性麻痺	頭 部 外 傷	4	6	7
	脳炎及び急性脳症後遺症	6	7	6
	脳血管障害後遺症	3	4	3
	低酸素性虚血性脳症後遺症	5	6	4
	そ の 他	3	4	5
脳 性 運 動 障 害	105	91	61	
運 動 発 達 遅 滞	23	29	26	
精神発達遅滞、自閉症その他情緒障害		12	15	10
染色体異常	ダウ ン 症 候 群	15	15	13
	そ の 他	1	5	5
神経筋疾患	先天性筋ジストロフィー症	5	6	5
	そ の 他	8	7	8
そ の 他 の 遺 伝 性 疾 患		3	4	2
分 娩 麻 痺		2	2	1
二 分 脊 椎		10	13	14
そ の 他		15	16	12
計		369	371	338

イ 年齢別数(H23.3.31現在)

年齢	H20年度	H21年度	H22年度
0	5	8	4
1	22	42	24
2	28	22	35
3	21	25	19
4	32	20	18
5	26	23	15
6	23	19	19
7	18	16	17
8	20	14	14
9	18	17	13
10	11	16	11
11	18	10	19
12	13	20	8
13	7	14	19
14	13	8	10
15	6	14	8
16	7	6	14
17	4	10	6
18歳以上	77	67	65
計	369	371	338

※ 業務概要より

【外来に対する作業療法(実人数)】

ア 疾患別数

疾患別分類		H20年度	H21年度	H22年度
脳	性 麻 痺	64	61	67
脳性麻痺以外の 中枢性麻痺	頭 部 外 傷	4	6	5
	脳炎及び急性脳症後遺症	6	6	5
	脳血管障害後遺症	3	3	2
	低酸素性虚血性脳症後遺症	2	3	2
	そ の 他	3	6	2
脳 性 運 動 障 害	75	72	46	
運 動 発 達 遅 滞	17	32	43	
精神発達遅滞、その他情緒障害		24	40	39
自 閉 症				26
染色体異常	ダウ ン 症 候 群	16	21	22
	そ の 他	3	4	5
神経筋疾患	先天性筋ジストロフィー症	1	1	1
	そ の 他	3	5	4
学 習 障 害		1	1	0
二 分 脊 椎		1	2	2
そ の 他		4	6	6
計		227	269	277

イ 年齢別数(H23.3.31現在)

年齢	H20年度	H21年度	H22年度
0	0	2	2
1	11	24	12
2	21	20	36
3	26	26	24
4	32	29	40
5	23	38	35
6	24	27	30
7	17	22	21
8	13	15	16
9	11	10	13
10	5	14	8
11	13	5	10
12	4	12	5
13	3	3	8
14	6	2	2
15	3	5	1
16	3	3	5
17	1	1	3
18歳以上	11	11	6
計	227	269	277

※ 業務概要より

【外来に対する言語聴覚療法(実人数)】

ア 疾患別数

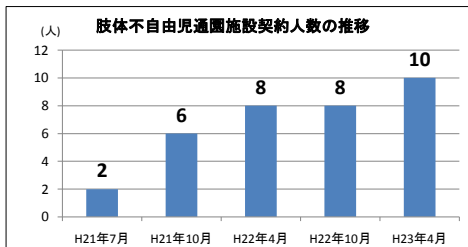
疾患別分類	H20年度	H21年度	H22年度	
脳性麻痺	36	31	46	
脳性麻痺以外の中枢性麻痺	頭部外傷	1	3	4
	脳炎及び急性脳症後遺症	3	3	3
	脳血管障害後遺症	1	1	1
	低酸素性虚血性脳症後遺症	2	3	2
	その他	4	4	2
脳性運動障害	51	44	27	
運動発達遅滞	9	8	18	
言語発達遅滞	71	72	76	
精神発達遅滞その他情緒障害	33	43	50	
自閉症	43	51	50	
染色体異常	ダウン症候群	12	16	11
	その他	4	4	7
神経筋疾患	2	2	3	
その他の遺伝性疾患	1			
構音障害	4	4	3	
学習障害	2	4	1	
二分脊椎	1	1	2	
その他	4	3	6	
計	284	297	312	

イ 年齢別数(H23.3.31現在)

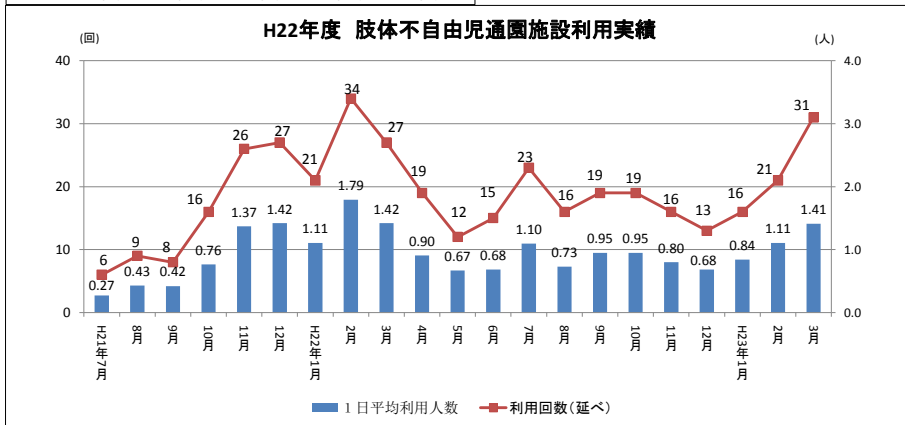
年齢	H20年度	H21年度	H22年度
0	1	1	3
1	5	12	13
2	35	20	29
3	46	50	36
4	55	67	64
5	35	41	50
6	32	23	29
7	22	23	19
8	12	18	16
9	9	8	17
10	6	7	8
11	9	7	7
12	4	6	3
13	3	4	4
14	2	1	4
15	2	1	1
16	1	2	1
17	1	1	2
18歳以上	4	5	6
計	284	297	312

※ 業務概要より

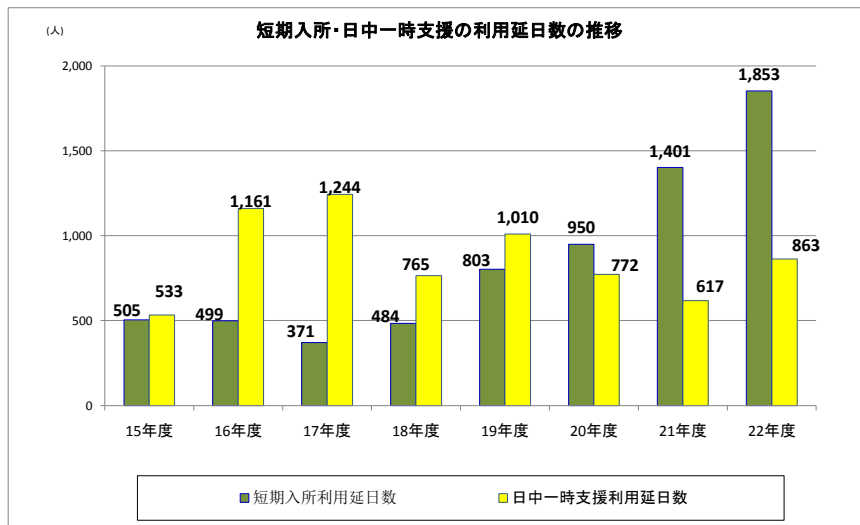
④ 肢体不自由児通園施設の状況



※ 療育福祉センター調べ



⑤ 短期入所・日中一時支援の状況



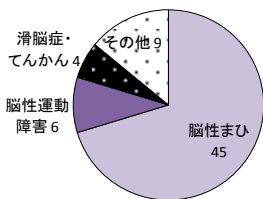
※ 業務概要より

(参考)22年度短期入所利用延日数 1,853日の内訳:医療型(重心児)1,192日、福祉型(重心児以外)661日

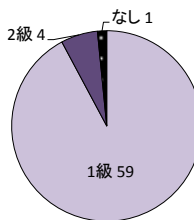
【 短期入所 】

※ 療育福祉センター調べ

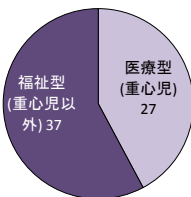
H22年度 短期入所 障害・疾病別



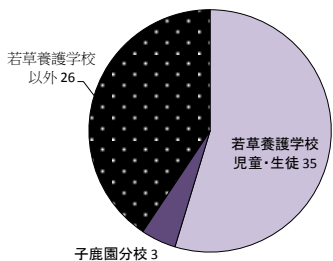
H22年度 短期入所契約児 身体障害等級別



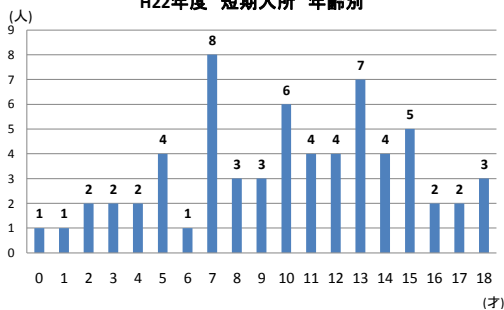
H22年度 短期入所契約種別

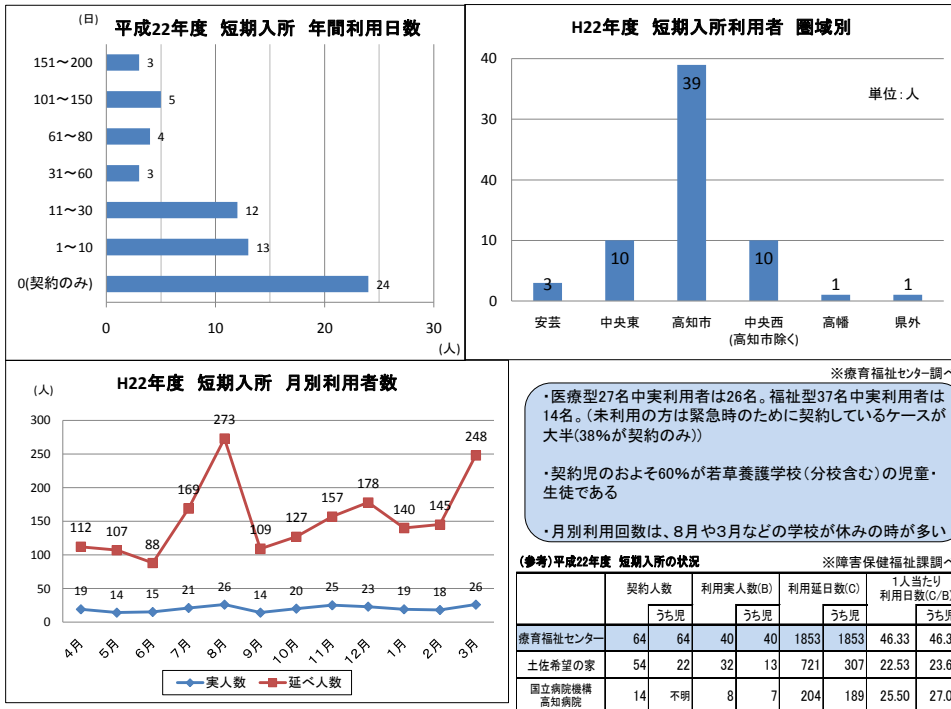


H22年度 短期入所契約児 学校別



H22年度 短期入所 年齢別

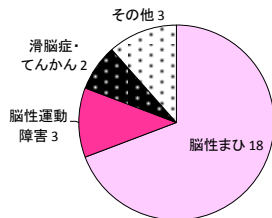




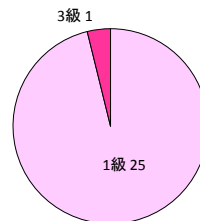
【 日中一時支援 】

※ 療育福祉センター調べ

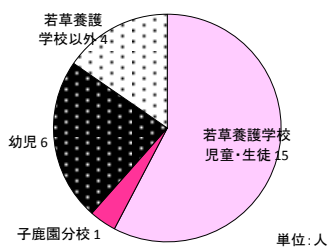
H22年度 日中一時 障害・疾病別



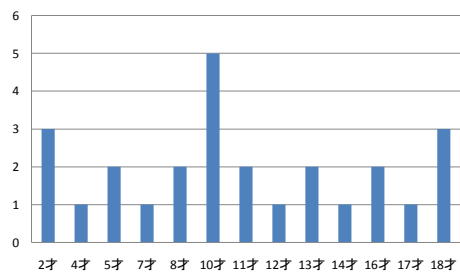
H22年度 日中一時支援契約児 身体障害等級別

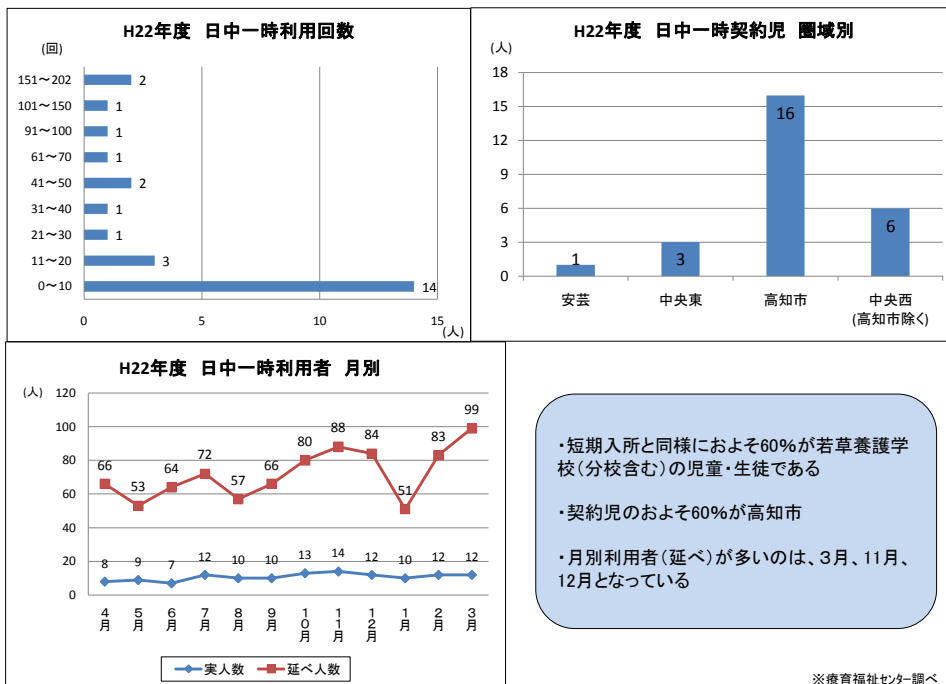


H22年度 日中一時契約児 学校別



(人) H22年度 日中一時契約児 年齢別





⑥ その他

【在宅支援】

ア リハビリ地域訪問

- ・障害児が現在通っている、あるいは今後通う予定の保育所、小、中学校などを訪問し、身体状況に応じた環境整備や自助具等の紹介、施設改修に関する助言や接し方などについてアドバイスを行う
- ・在宅を訪問し、家屋改修に関する助言や実際の生活場面での工夫等についてアドバイスを行う
- ・その他、福祉保健所や市町村に向き、業務内容についての説明や情報交換を行ったり、地域でのケース会議などに参加し、現状だけでなく、今後予想される身体運動機能も考慮したアドバイスを行う

支援内容別件数(延べ件数)

	在宅	保育所・園	小学校	中学校	医療機関	支援者会議	市町村・WHC	施設	その他	平成22年度合計
安芸	0	13	2	0	2	0	5	0	0	22
中央東	0	6	4	0	1	0	4	9	1	25
中央西	0	2	3	1	0	2	2	0	0	10
高幡	0	11	5	0	2	1	4	0	1	24
幡多	4	4	3	1	7	0	5	16	1	41
合計	4	36	17	2	12	3	20	25	3	122
高知市	2	1	11	1	0	0	1	0	4	20
総計	6	37	28	3	12	3	21	25	7	142

イ 地域療育支援

- ・地域の医療機関へ出向き、リハスタッフに対して具体的な訓練等についてアドバイスを行う
- ・地域の医療機関で障害児リハビリが円滑に実施できるように、福祉保健所や病院スタッフとの情報交換や連絡調整を行う

支援件数(延べ件数)

	安芸	中央東	中央西	高幡	幡多	合計
平成22年度	1	1	1	7	1	11
平成21年度	1	3	0	0	5	9



※業務概要より

【協力病院】

- ・田野病院(田野町)
- ・南国中央病院(南国市)
- ・いずみの病院(高知市)
- ・須崎くろしお病院(須崎市)
- ・くぼかわ病院(四万十町)
- ・森下病院(四万十市)
- ・筒井病院(宿毛市)
- ・構原病院(構原町)



(2) その他

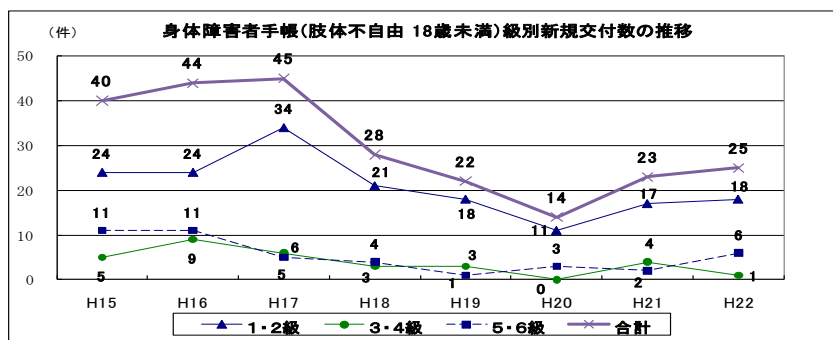
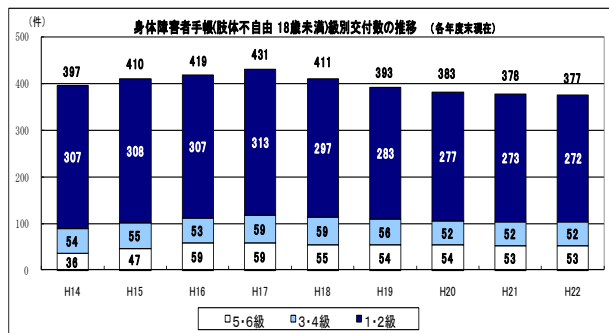


○平成22年度 身体障害者手帳交付数

【圏域別交付数】 平成23年3月31日

圏域	18才未満(肢体不自由)		
	1・2級	3・4級	5・6級
安芸	33	24	7
中央東	69	50	10
中央西	212	159	27
高幡	28	19	3
幡多	35	20	5
合計	377	272	53

※ 障害保健福祉課調べ



○平成22年度 重症心身障害児(者)通園事業(B型施設)実績

	通園実人員		通園延人員(B)		通園回数 (開所日数)(C)	1日当たり 通園児数(B/C)	
		うち児		うち児			うち児
土佐希望の家	10	5	853	482	243	3.51	1.98
幡多希望の家	8	3	418	153	242	1.73	0.63
国立病院機構 高知病院		13		442	242		1.83

※ 障害保健福祉課調べ

○平成22年度 相談支援の状況
(相談支援を利用している重症心身障害者等の人数)

	高知市以外	高知市	合計
障害者	55	40	95
障害児	30	32	62
計	85	72	157

※福祉行政報告例より

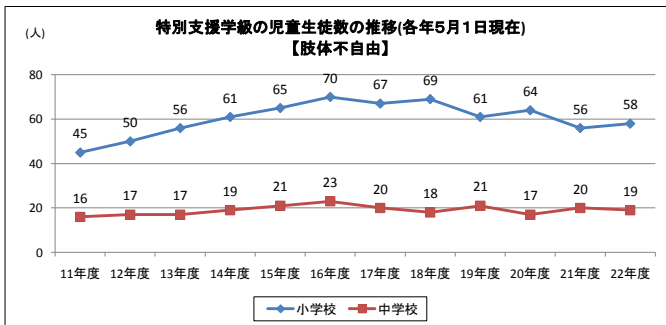
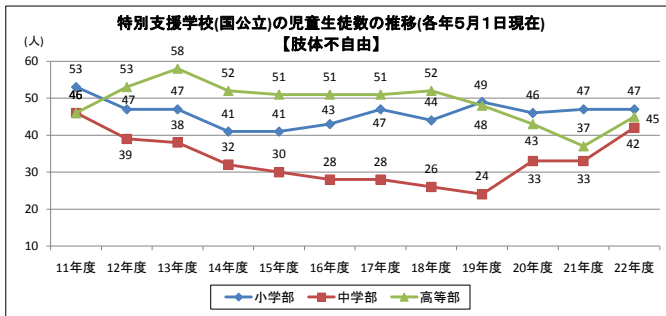
○平成22年度 在宅重症心身障害児(者)相談支援事業実績

圏 域	委託先				合計	
	安芸	中央東	中央西	幡多		
	土佐希望の家					
実 用 人 数	2	2	10	15	29	
支 援 回 数	9	16	26	74	125	
内 訳	福祉サービスの利用等に関する支援		14	24	38	
	健康・医療に関する支援	7	4	4	26	41
	保育・教育に関する支援				6	6
	生活技術に関する支援		2	2	3	7
	社会参加・余暇活動に関する支援		8		3	11
その他	2	2	6	12	22	

※ 障害保健福祉課調べ

※在宅重症心身障害児(者)相談支援事業(H22年度～)
在宅の重症心身障害児(者)の地域における生活を支えるために、必要な情報の提供及び助言その他の障害福祉サービスの利用支援等を行うとともに、関係機関との連絡調整等必要な援助を行う事業。

○教育の状況



※平成22年度高知県の特別支援教育資料から抜粋

特別支援学校の児童生徒数
【肢体不自由】

(平成23年5月1日)

学校名	児童生徒数
高知若草養護学校(本校)	86
子鹿園分校	7
国立高知病院分校	17
土佐希望の家分校	31
中村養護学校	2
合 計	143

※平成23年5月31日現在 速報値